

小体研

Physical education

2019年(令和元年)

11月22日(金)

◇第10号◇

八重山地区小学校体育研究会広報誌

第2分科会 芝川小学校の授業を参観して

個の力と集団の力を高め、自己肯定感や自己有用感の育成を目指した体育科指導の工夫

八重山地区小学校体育研究会

(石垣市立宮良小学校教諭)

理事長：宮良 善起

当日は大人気の会場で、300名を超える参観者の中、公開授業が展開されました。学校側も、参観者を気づかい、モニタールームを3部屋用意するなど配慮が見られました。なぜ、たくさんの分科会があるなかそんなに参観者が多いのか…と気になり訪ねてみますと…。芝川小学校は平成25年度から研究がスタートし「体育科を中核とした肯定的集団の育成」に3年間取り組み、28年度からは、「体育科と特別の教科道徳を中核とした個と集団のつながり」を目指した研究に取り組んできたとのことでした。



また、今年度からは第3次に突入ということで、「体育科とその他の教科・領域へと広げた個と集団のつながり」をテーマに掲げ研究に取り組んでいるということでした。つまり、公開授業までに7年間、そして、これから先2年間、計9年間の体育研究に没頭するという長期スパン型の研究校でした。また、授業を参観し、先生方の指導力と学習環境(場の設定)の工夫がいかに大切であるかに気づかされました。その大人気の分科会の様子を紙面ではありますが、少しでもお伝えできたらと思います。

MIS ～ミッションインSHIBAKAWA～ (第2学年)

(多様な動きをつくる運動遊び)



ロープ引きゾーン



ロープを手繰り寄せた先にはベルが！

ミッション・イン・ポッシブルの曲♪にのせ、活発に動いている姿が印象的でした。また、どの子ども自分のミッション(課題)をクリアするために仲間と協力して汗を流していました。教師は、絶えず子どもたちを褒めて、褒めて、褒めまくっていました。(自己肯定感・自己有用感のUPにつながるため・それも評価につながるという意識)

パワーアップじゅうたん



二人で力を合わせないと、まっすべ
すすまないよ！
C オールス・オールス！
一生懸命になりながらも先生の声に
しっかり反応していました！

レーザー罠



レーザーはゴム紐を洗濯バサミでとめています。押すと光るボタン すべて100均でそろいます！

シューティングターゲット



ボールを当てると光ります！祭りで売ってる物です

ラスポスは全員で！

大きな布を洗濯バサミでパチッと！



全員で取り組むことで「一体感
が生まれ達成感と充実感が！

みんなが主役だ! レシーブ・セット・アタック!! (第3学年)

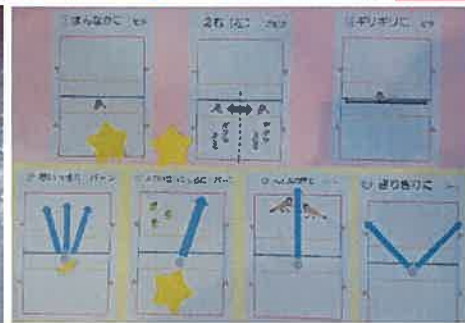
手作りネット

(ネット型ゲーム)



今回のネット型は、ネットの下を通過させる方式のゲームでした! 安全対策とダイナミックな動きができるようにチームカラーに合わせたサポーターと手袋を着用していました。片付けは台車に乗せるだけで、即撤収! 整理整頓もすばしかったです。

サポーター・手袋



力を足裏から指先まで伝えて、みんなで目指せ、新記録 (第6学年)

ロングスローアップ (投の運動)



最後の列は、立って話を聞いています。



技能を高めるための掲示物がたくさん用意されていました。投に必要な知識を高める掲示物が多かったです!



スモールステップで投力UP!



透明のホースでカバーをすることで持ちやすく

ボールをミカンのあみに入れ握りやすいように工夫

山なりに投げられるように移動式ネットを用意!

ボールを握りやすく、しかも、腕の振りを意識できるように工夫が！
遠心力で遠くまで投げられます！爽快感を味わえます！



落下地点のめやすを!



ジャベボール ミニ

126g

投げると「ヒュー」と音が鳴り、野球や中学校のジャベリックスロー、高校のやり投げ等につながる動きが身に付くとされています。また、高学年向けには「ジャベボール」というものがあり、日本陸上競技連盟主催の全国陸上競技交流大会の種目となっています。今回は、比較的投げやすい「ジャベボールミニ」を活用しており、全身を使い、大きなフォームで投げる姿が印象的でした。投げる『モノ』を色々変えることによって自然と投げるフォームがダイナミックになり、どんどん記録が伸びていくのを目の当たりにしました。『モノ』の活用がポイントとなる授業でした。